

(意見書案第8号)

「政治とカネ」の疑惑究明を求める意見書

民主党代表の鳩山首相と小沢幹事長の資金疑惑をめぐり、説明責任と政治的道義的責任を求める声が高まっている。また、共同通信社が実施した全国電話世論調査において、「秘書らが起訴された小沢幹事長は国会で説明すべきだ」という意見が86%となった。疑惑解明は多くの国民の声である。

鳩山首相の資金疑惑は、同氏の資金管理団体「友愛政経懇話会」が個人献金と届けた中に、「故人」の名義などが含まれていた偽装献金疑惑である。実母からの献金問題では、いまだ11億8千万円分の使途が明らかにされていない。また、小沢幹事長の疑惑は、同氏の資金管理団体の土地購入疑惑である。そして購入資金4億円の原資の一部にゼネコンのヤミ献金が含まれている疑惑である。

これらの疑惑の解明に当たっては、司法当局の捜査と国会の場での真相究明が、「車の両輪」である。

よって、国においては、かつてのロッキード事件の時に確認された「国会は政治的道義的責任の有無について調査する」とした5党合意に基づき、疑惑を究明し、国民の政治不信を取り払うよう下記事項について強く要望する。

記

- 1 鳩山首相と小沢幹事長は、みずからの資金疑惑について、国民への説明責任を果たすこと。
- 2 国会は、鳩山首相と小沢幹事長の疑惑について、政治的道義的責任の究明を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により提出する。

平成22年3月23日

釧路市議会

衆議院議長 }  
参議院議長 } 宛  
内閣総理大臣 }  
総務大臣 }